

令和6年
火災・救急・救助統計

松山市消防局

目 次

火災の状況	1
1 火災件数	
(1) 火災件数の推移	2
(2) 火災種別の構成割合	2
(3) 建物用途別件数	3
(4) 月別件数	4
(5) 四季別件数	4
(6) 時間帯別件数	4
(7) 地区別件数	5
(8) 地区別件数の推移	6
2 出火原因	7
3 死傷者	
(1) 死傷者数の推移	8
(2) 死者の状況	8
(3) 負傷者の状況	8
4 損害額	
(1) 損害額の推移	9
(2) 損害額の内訳	9
5 覚知方法別火災件数	10
6 初期消火の状況	10
7 署所別の火災状況	11
8 住宅用火災警報器の奏功事例	12

救急の状況

1	救急出動件数・搬送人員の状況	13
2	月別救急の状況	14
3	医療機関別搬送状況	14
4	署所別出動件数の状況	15
5	年齢別・性別搬送人員の状況	15
6	事故種別・傷病程度別搬送人員の状況	16
7	時間帯別出動件数の状況	16
8	現場到着所要時間の状況	17
9	収容所要時間の状況	17
10	応急処置実施状況	18
11	応急手当普及啓発活動の状況	19
12	地区別救急発生状況	20

救助の状況

1	救助出動等の状況	21
2	救助出動等の推移	22
3	事故種別・署別出動の状況	23
	事故種別出動件数と構成割合	24
	事故種別救助人員と構成割合	24
4	月別救助出動等の状況	25
5	事故種別・傷病程度別救助人員	25
6	発生場所別の出動状況	26
7	地区別救助出動状況	27

※統計中の構成比・実施比率は小数点第2位を四捨五入しているため、合計しても100%にならない場合があります。

火

災

火災の状況

令和6年中の火災件数は110件で、前年と比較し6件減少しています。
火災による死者は4人(前年6人)、負傷者は25人(前年13人)となっています。
また、火災による損害額は1億2,671万8千円で、前年と比較すると
4,819万2千円増加しています。

(各年中) (▲減少)

区 分		単位	令和6年		令和5年		増 減 (A－B) C
			A	爆発	B	爆発	
火 災 件 数	合 計	件	110		116		▲ 6
	建 物 火 災 (住 宅 火 災)		79 (52)		70 (42)		9 10
	林 野 火 災				4		▲ 4
	車両 自 動 車 火災 鉄 道		8		9		▲ 1
	船 舶 火 災						
	航 空 機 火 災						
	その他の火災*1		23		33		▲ 10
焼 損 棟 数	合 計	棟	122		91		31
	全 焼		20		6		14
	半 焼		8		5		3
	部 分 焼		24		12		12
	ぼ や		70		68		2
	爆発損害棟数						
焼 損 面 積	建物焼損 床面積	㎡	2,705		1,042		1,663
	〃 表面積		261		183		78
	林野焼損面積				14		▲ 14
死 傷 者	死 者 (住宅火災死者)	人	4 (4)		6 (6)		▲ 2 ▲ 2
	負 傷 者		25		13		12
り 災 世 帯	合 計	世帯	96		65		31
	全 損		16		7		9
	半 損		6		3		3
	小 損		74		55		19
り 災 人 員		人	184		134		50
損 害 額	合 計	千円	126,718		78,526		48,192
	建 物		117,489		73,618		43,871
	林 野						
	車両 自 動 車 火災 鉄 道		9,006		4,240		4,766
	船 舶						
	航 空 機						
	そ の 他		223		668		▲ 445
	爆 発						
出 火 率 *2		件	2.20		2.30		▲ 0.10

(注) *1 その他の火災とは、田畑や河川敷の枯草、屋外に放置された物件等が燃えた火災をいいます。

*2 出火率とは、人口1万人当たりの火災件数をいいます。
(人口は、令和6年1月1日現在の住民基本台帳による)

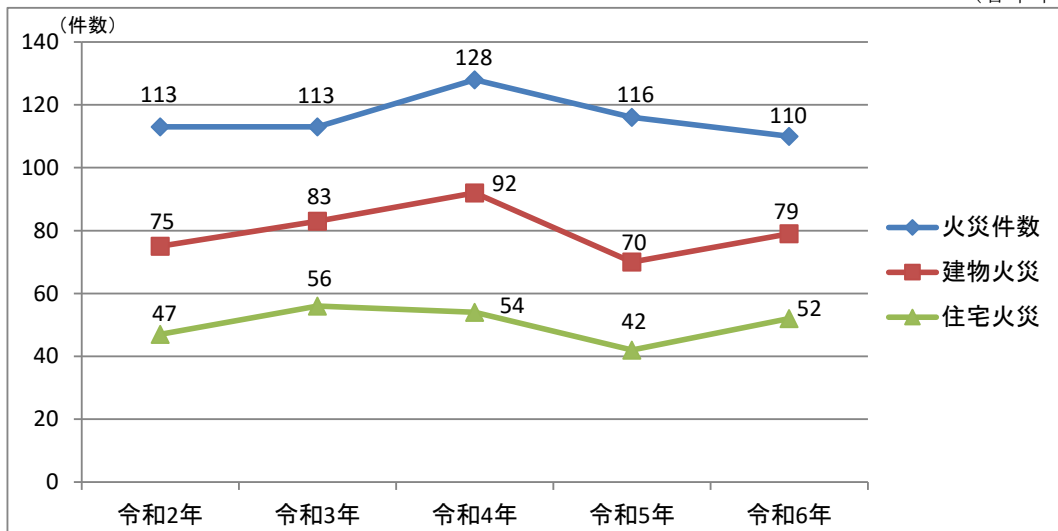
1 火災件数

(1) 火災件数の推移

火災件数は前年より6件減少した110件となっています。

また、建物火災件数は前年より9件増加した79件となっており、過去5年間平均値は79.8件です。

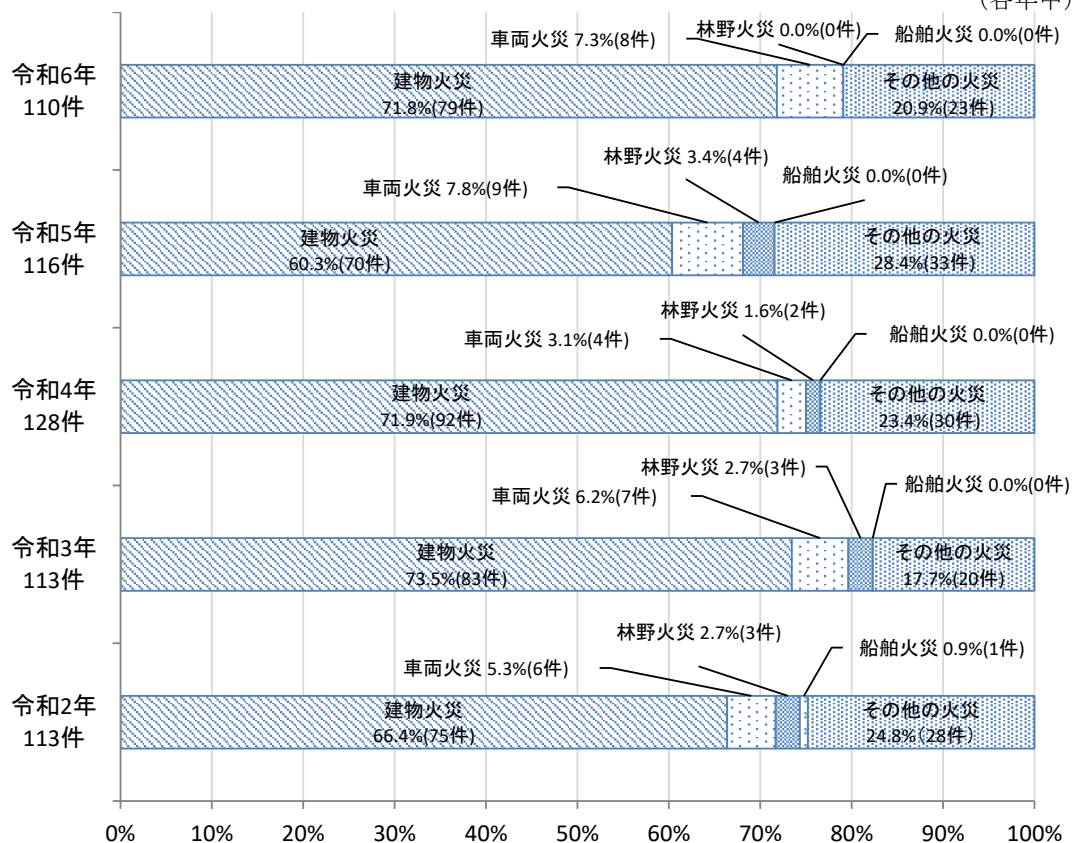
(各年中)



(2) 火災種別の構成割合

火災種別ごとの割合をみると、建物火災が全火災の71.8%(79件)を占めており、次いで、その他の火災20.9%(23件)、車両火災7.3%(8件)となっています。

(各年中)



(3) 建物用途別件数

建物火災を用途別にみると、住宅（共同住宅を含む）の火災が52件と最も多く、建物火災全体の65.8%を占めています。

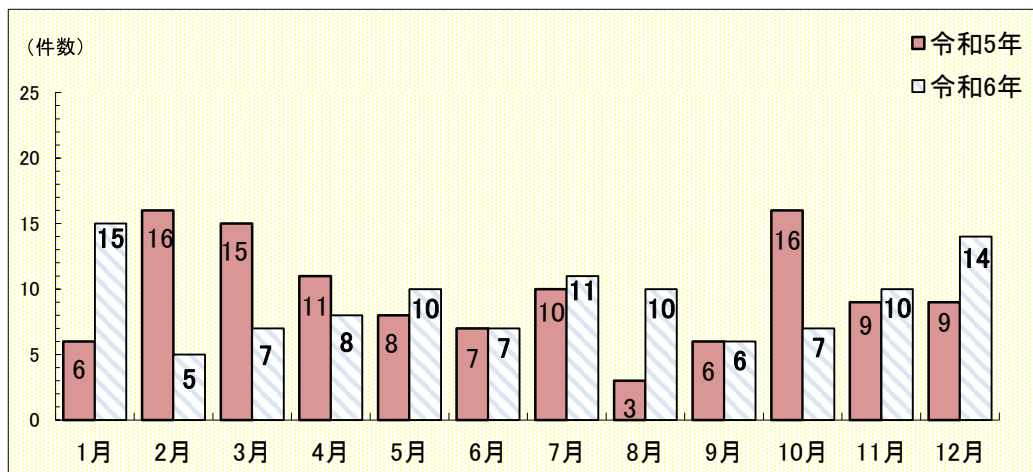
(各年中)

年 別 用 途	令 和 6 年	令 和 5 年	令 和 4 年	令 和 3 年	令 和 2 年
専 用 住 宅	30	21	31	36	32
共 同 住 宅	20	21	21	17	13
併 用 住 宅	2		2	3	2
小 計	52	42	54	56	47
劇 場 等					
公 会 堂 等					
キ ャ バ レ ー 等					
遊 技 場 等					
性 風 俗 施 設					
カラオケボックス等					
料 理 店 等					
飲 食 店	1	3	3	3	4
物 品 販 売 店 舗 等			1		5
旅 館 ・ ホ テ ル 等	1	1	1		
病 院 等					
グ ル ー プ ホ ー ム 等	2				
社 会 福 祉 施 設 等					
幼 稚 園 等					
学 校		1		1	1
図 書 館 等					
特 殊 浴 場					
公 衆 浴 場			1		
停 車 場 等					
神 社 ・ 寺 院 等					
工 場 ・ 作 業 場	4	5	7	1	6
ス タ ジ オ					
駐 車 場 等			1	1	
航 空 機 格 納 庫					
倉 庫			1	1	3
事 務 所 等		2	2	1	
特 定 複 合 用 途	12	8	9	5	3
非 特 定 複 合 用 途	2	5	5	3	2
地 下 街					
準 地 下 街					
文 化 財					
そ の 他	5	3	7	11	4
小 計	27	28	38	27	28
合 計	79	70	92	83	75

(4) 月別件数

火災件数を月別にみると、1月が15件で最も多く、次いで12月が14件、7月が11件となっています。

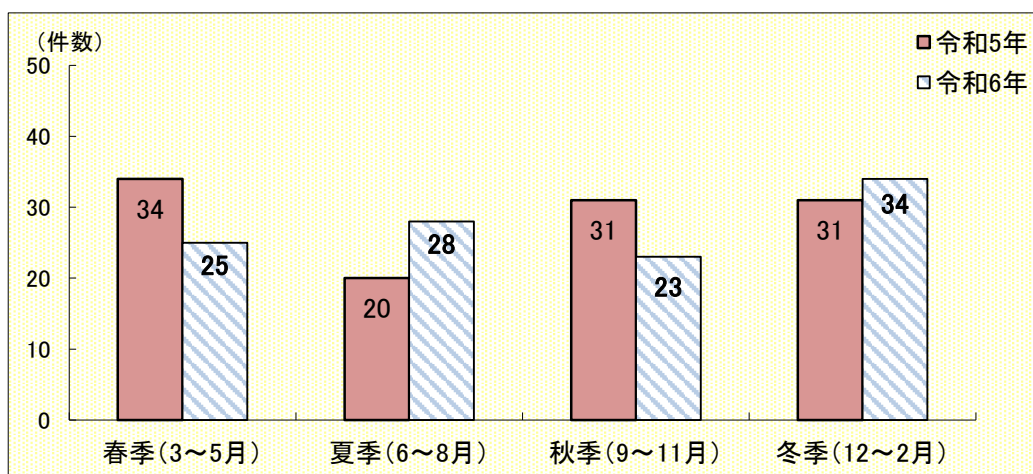
(各年中)



(5) 四季別件数

火災件数を四季別にみると、冬季が34件（30.9%）で最も多くとなっています。

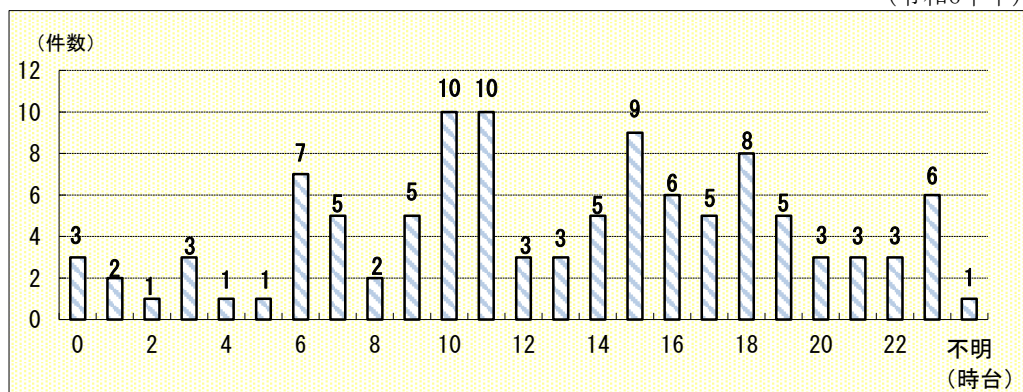
(各年中)



(6) 時間帯別件数

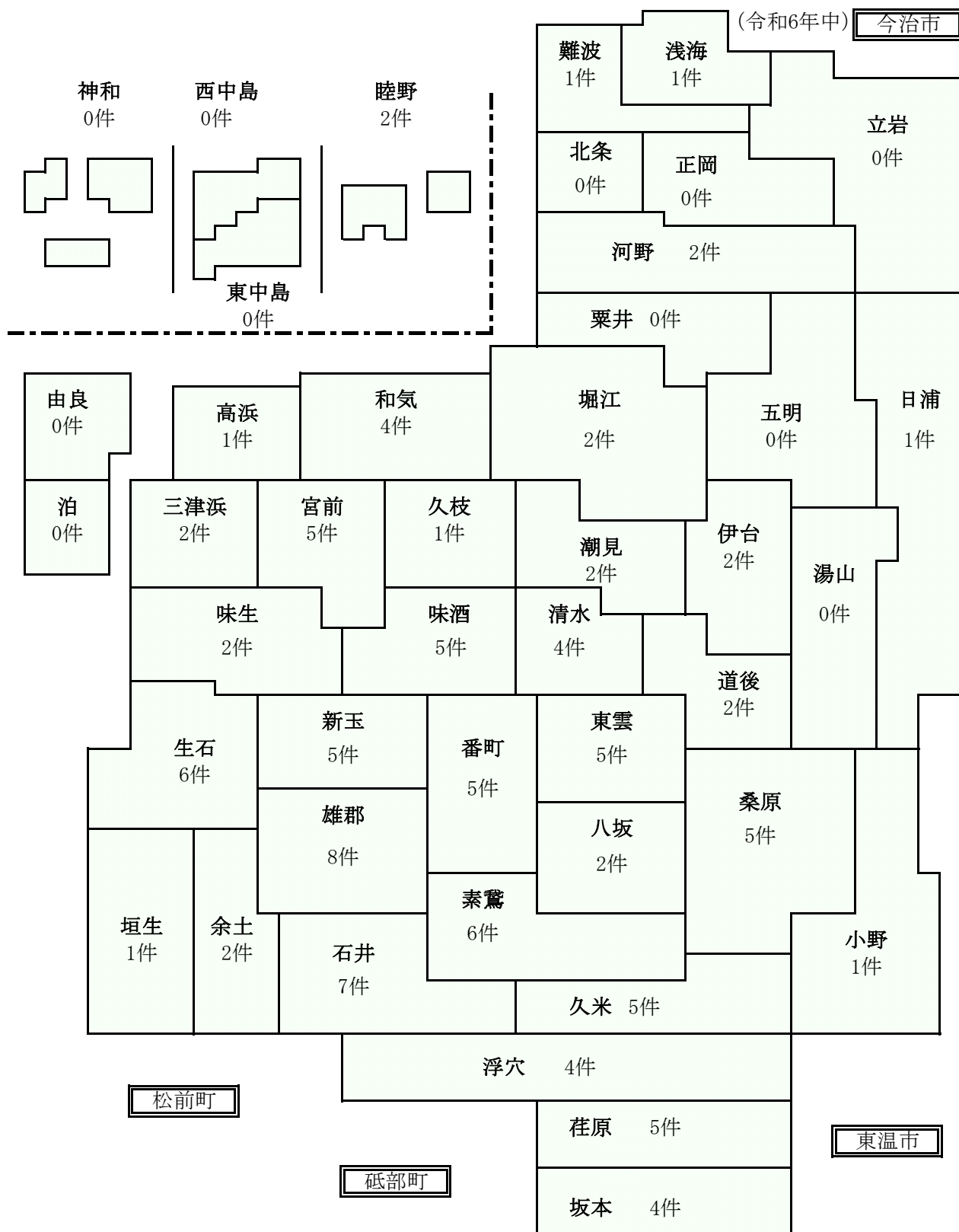
火災件数を時間帯別にみると、10時、11時台が10件で最も多く、次いで15時台が9件、18時台が8件となっています。

(令和6年中)



(7) 地区別件数

火災件数を地区別にみると、雄郡（前年6件）が8件と最も多く、次いで石井（前年6件）が7件、生石（前年6件）、素鷲（前年1件）が6件となっています。



※松山市基準地区（44地区）

(8) 地区別件数の推移

(各年中)

	令和6年	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年
番町	5	7	6	5	3
東雲	5	7	5	3	4
八坂	2	3	0	3	2
素鷲	6	1	3	4	9
雄郡	8	6	7	6	7
新玉	5	1	2	2	1
味酒	5	4	2	4	3
清水	4	9	10	2	5
桑原	5	2	4	2	4
道後	2	3	8	4	5
味生	2	9	4	3	5
生石	6	6	6	4	3
垣生	1	1	4	2	3
宮前	5	3	3	1	3
三津浜	2	0	0	2	2
高浜	1	1	1	3	1
久枝	1	6	3	4	1
潮見	2	3	3	6	3
和気	4	3	3	5	1
堀江	2	2	3	3	0
余土	2	4	3	5	6
由良	0	0	0	1	0
泊	0	0	0	2	0
久米	5	4	4	5	3
湯山	0	4	0	0	3
日浦	1	1	1	1	0
伊台	2	0	1	2	0
五明	0	0	1	0	4
小野	1	7	5	8	2
浮穴	4	4	1	1	6
石井	7	6	12	8	9
荏原	5	3	4	2	4
坂本	4	0	1	1	2
浅海	1	1	2	2	3
立岩	0	0	3	0	1
難波	1	0	1	1	1
正岡	0	0	2	1	0
北条	0	0	1	0	0
河野	2	3	4	1	2
栗井	0	1	3	3	2
睦野	2	0	0	0	0
東中島	0	0	0	1	0
西中島	0	0	1	0	0
神和	0	1	1	0	0
合計	110	116	128	113	113

※松山市基準地区（44地区）

2 出火原因

全火災１１０件を出火原因別にみると、「こんろ」が１６件で最も多く、次いで「たばこ」が１１件、「たき火」、「電気機器」が１０件となっています。

(各年中) (▲減少)

出火原因	令和6年	令和5年	増減
こ ん ろ	16	17	▲ 1
た ば こ	11	10	1
た き 火	10	19	▲ 9
電 気 機 器	10	7	3
電 灯 等 の 配 線	9	4	5
配 線 器 具	5	3	2
排 気 管	4	2	2
火 あ そ び	3	2	1
ス ト ー ブ	3	1	2
放 火	2	8	▲ 6
電 気 装 置	2	2	0
取 灰	2	1	1
放 火 の 疑 い	2	0	2
灯 火	1	2	▲ 1
煙 突 ・ 煙 道	1	0	1
火 入 れ	0	4	▲ 4
マッチ・ライター	0	2	▲ 2
焼 却 炉	0	2	▲ 2
炉	0	1	▲ 1
ボ イ ラ ー	0	1	▲ 1
内 燃 機 関	0	1	▲ 1
そ の 他 *	20	18	2
不 明 ・ 調 査 中	9	9	0
合 計	110	116	▲ 6

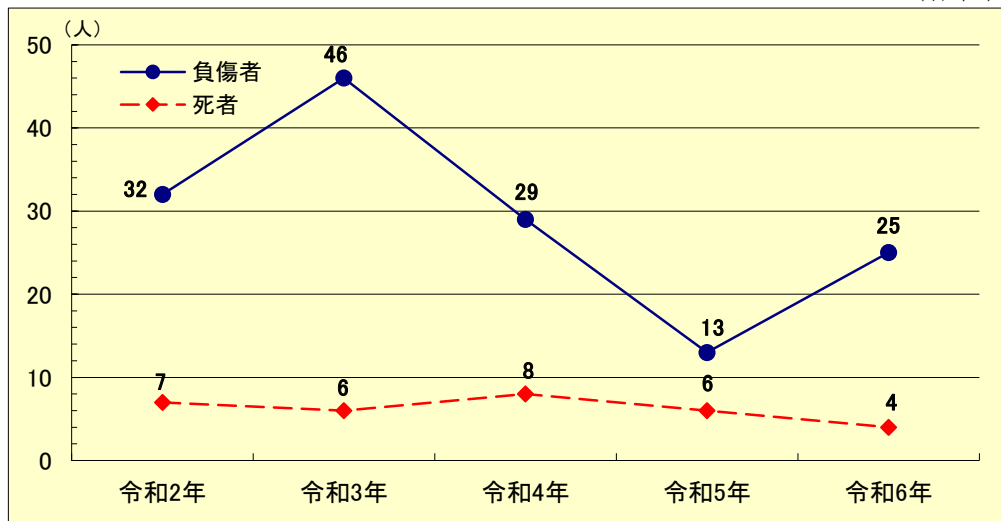
*出火原因の「その他」とは屋台用こんろ、電気トースター、線香などがあります。

3 死傷者

(1) 死傷者数の推移

火災による死者数は4人で、前年（6人）と比較すると2人減少しています。また、負傷者数は25人で、前年（13人）と比較すると12人増加しています。

(各年中)



(2) 死者の状況

死者を火災種別及び年齢層別でみると、次表のとおりとなっています。

(各年中)

(各年中)

火災種別	令和6年	令和5年
建物火災	4人	6人
林野火災	0人	0人
車両火災	0人	0人
船舶火災	0人	0人
航空機火災	0人	0人
その他の火災	0人	0人
合計	4人	6人

年齢層別	令和6年	令和5年
5歳以下	0人	0人
6歳～64歳以下	1人	1人
65歳以上	3人	5人
合計	4人	6人

(3) 負傷者の状況

火災種別及び受傷時の状況でみると、次表のとおりとなっています。

(各年中)

(各年中)

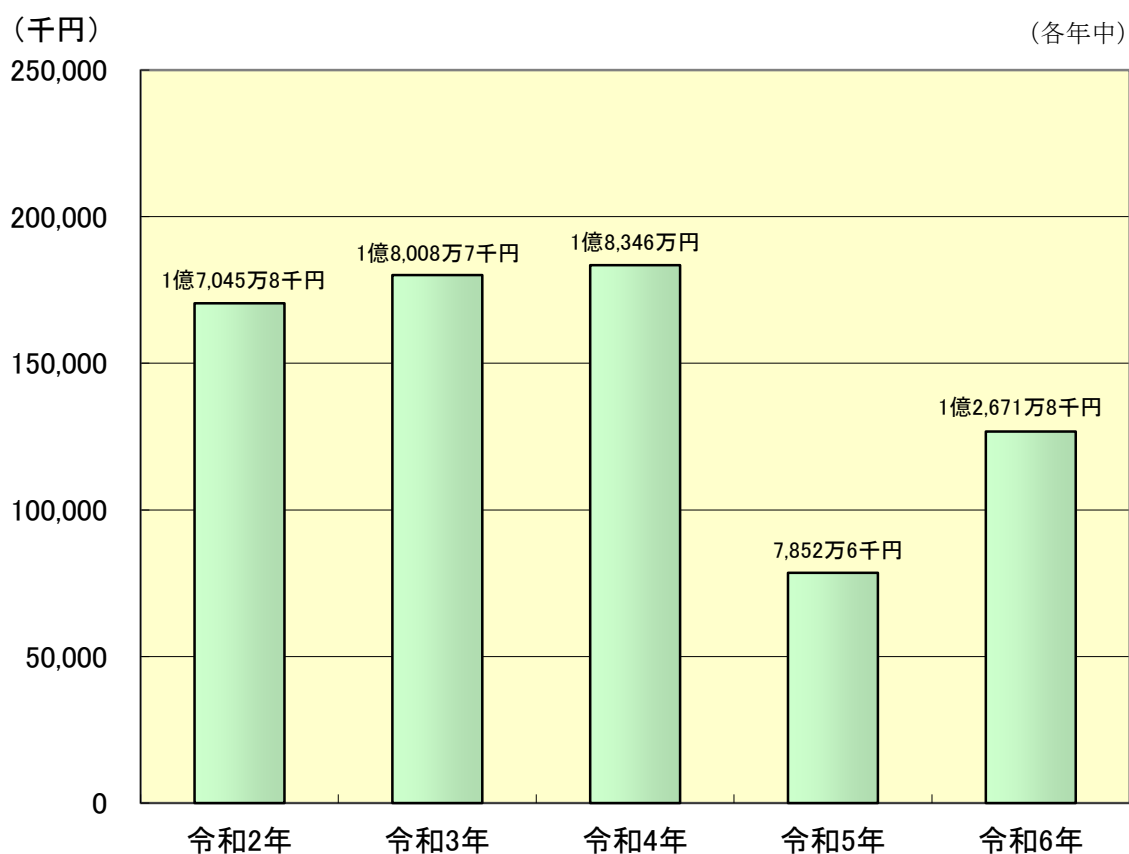
火災種別	令和6年	令和5年
建物火災	21人	12人
林野火災	0人	0人
車両火災	0人	0人
船舶火災	0人	0人
航空機火災	0人	0人
その他の火災	4人	1人
合計	25人	13人

受傷時の状況	令和6年	令和5年
消火中	8人	5人
避難中	10人	4人
就寝中	2人	0人
作業中	3人	4人
その他	2人	0人
合計	25人	13人

4 損害額

(1) 損害額の推移

火災による損害額は、1億2,671万8千円で、前年(7,852万6千円)と比較すると4,819万2千円増加しています。



(2) 損害額の内訳

損害額を損害種別ごとに過去5年間でみると、次表のとおりとなっています。

【単位：千円】

(各年中)

損 害 種 別	令和6年	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年	平均
建 物	117,489	73,618	181,689	174,455	166,455	142,741
林 野	0	0	0	0	0	0
車 両	9,006	4,240	1,321	4,914	2,551	4,406
船 舶	0	0	0	0	228	46
航 空 機	0	0	0	0	0	0
そ の 他	223	668	450	691	1,224	651
爆 発	0	0	0	27	0	5
合 計	126,718	78,526	183,460	180,087	170,458	147,850

5 覚知方法別火災件数

覚知した方法別にみると、携帯電話からの119番通報が54件で最も多く、次いで、事後聞知(火災鎮火後に覚知したもの)が30件となっています。

(令和6年中)

覚知方法別	区分	件数	構成比 (%)
119 (携帯電話から)		54	49.1%
事後聞知		30	27.3%
自己覚知		2	1.8%
119 (IP電話から)		9	8.2%
119 (固定電話から)		5	4.5%
警察電話		6	5.5%
加入 (固定電話から)		0	0.0%
加入 (携帯電話から)		1	0.9%
その他		3	2.7%
合計		110	

6 初期消火の状況

初期消火の状況をみると、初期消火が実施されたのは80件で、そのうち60件(75.0%)が初期消火に成功し火災鎮圧に効果がありました。

初期消火使用器具等をみると、水道・浴槽等の水が30件で最も多く、次いで粉末消火器が29件となっています。

(令和6年中)

火災件数	110
初期消火実施	80 (72.7%)
初期消火なし	30 (27.3%)

初期消火使用器具等	実施件数	成功件数	実施比率	成功率
水道・浴槽等の水	30	21	37.5%	70.0%
粉末消火器	29	21	36.3%	72.4%
寝具、衣類等	8	8	10.0%	100.0%
もみ消す	2	0	2.5%	0.0%
その他	11	10	13.8%	90.9%
合計	80	60		75.0%

7 署所別の火災状況

(令和6年中)

区 分 署 別		件 数 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)	建物焼損 床面積(㎡)	建物焼損 表面積(㎡)	林野焼損 面積(a)	損 害 額 (千 円)
中央署		36	2	14	558	135	0	28,202
	本 署	23	1	8	223	39	0	14,417
	城 北	9	1	6	335	96	0	13,764
	北 条	4	0	0	0	0	0	21
東 署		23	1	4	513	48	0	19,610
	本 署	10	0	0	379	0	0	14,284
	城 東	13	1	4	134	48	0	5,326
南 署		30	1	6	498	14	0	46,225
	本 署	28	1	5	306	14	0	16,711
	東 部	2	0	1	192	0	0	29,514
西 署		21	0	1	1,136	64	0	32,681
	本 署	16	0	1	1,068	63	0	29,071
	西 部	5	0	0	68	1	0	3,610
合 計		110	4	25	2,705	261	0	126,718

8 住宅用火災警報器の奏功事例（令和6年）

【事例1】近隣住民が警報音に気づき、火災を未然に防いだ事例

近隣住民が住宅からの警報音に気づき、119番通報を行った。消防隊が駆けつけ、警報音が鳴っている住宅を確認したところ、ガスこんろの火にかかったままの鍋を発見し、ガスこんろの火を止め、火災を未然に防ぐことができた。

【事例2】住人が警報音に気づき、火災を未然に防いだ事例①

住人が警報音に気づき、台所を確認したところ、電子レンジから煙が出ているのを発見。電子レンジを止めたことで煙が収まり、火災を未然に防ぐことができた。電子レンジの加熱時間が長かったため、庫内の食品が焦げていた。

【事例3】住人が警報音に気づき、火災を未然に防いだ事例②

住人が警報音に気づき、台所を確認したところ、ガスこんろの火にかけたままの鍋から煙が出ているのを発見。ガスこんろの火を止め、火災を未然に防ぐことができた。住人は調理中であることを忘れていた。

【事例4】火元住人が警報音に気づき、初期消火に成功した事例①

火元住人が警報音に気づき、台所を確認したところ、ガスこんろの火が周囲の可燃物に燃え移っているのを発見。速やかに初期消火を行い、被害を最小限に抑えることができた。

【事例5】火元住人が警報音に気づき、初期消火に成功した事例②

火元住人が警報音に気づき、居室を確認したところ、仏壇のローソクが倒れ、周囲の紙類に燃え移っているのを発見。速やかに初期消火を行い、被害を最小限に抑えることができた。

【事例6】火元住民が警報音に気づき、初期消火に成功した事例③

火元住人が就寝中に警報音に気づき、トイレを確認したところ、トイレに置いていたたばこの吸殻から炎が上がっているのを発見。速やかに初期消火を行い、被害を最小限に抑えることができた。

- 住宅用火災警報器は、火災を早期に発見し、「初期消火」「避難」「119番通報」をいち早く行うことができ、被害の軽減に役立ちます。適切な設置と維持管理を行いましょう。
- 住宅用火災警報器は、古くなると電池切れや、故障する可能性があります。日頃から正常に作動するか確認し、10年を目安に交換しましょう。
- 作動確認や設置場所などの詳しい情報は、松山市ホームページの「住宅用火災警報器」を御確認ください。
- 日頃から、火気の取り扱いには十分注意し、火災予防を心がけましょう。

救 急

救急の状況

令和6年中の救急出動件数は31,543件、搬送人員は28,748人で、前年と比較し出動件数、搬送人員ともに増加しています。

これは、1日平均86.2件、16分43秒に1回の割合で救急車が出動し、市民17人に1人の割合で搬送されたことになります。

1 救急出動件数・搬送人員の状況

事故種別では、急病・一般負傷・転院搬送・交通事故の順となっており、この4種別だけで出動件数全体の96.5%、搬送人員は全体の97.8%を占めています。

(▲は減少)

区分	単位	令和6年 A	構成比 (%)	令和5年 B	構成比 (%)	増減 (A-B) C	増減率 (C/B×100) (%)
出動件数	件	31,543	100.0	29,987	100	1,556	5.2
内訳	火災	85	0.3	89	0.3	▲4	▲4.5
	自然	13	0.0	4	0.0	9	225.0
	水難	11	0.0	10	0.0	1	10.0
	交通	2,172	6.9	2,170	7.2	2	0.1
	労災	183	0.6	197	0.7	▲14	▲7.1
	運動	194	0.6	183	0.6	11	6.0
	一般	4,544	14.4	4,295	14.3	249	5.8
	加害	83	0.3	101	0.3	▲18	▲17.8
	自損	238	0.8	274	0.9	▲36	▲13.1
	急病	19,935	63.2	18,838	62.8	1,097	5.8
	転院	3,801	12.1	3,518	11.7	283	8.0
	その他	284	0.9	308	1.0	▲24	▲7.8
搬送件数	件	28,616	-	27,124	-	1,492	5.5
搬送人員	人	28,748	100.0	27,252	100.0	1,496	5.5
内訳	火災	22	0.1	12	0.0	10	83.3
	自然	5	0.0	0	0.0	5	-
	水難	4	0.0	3	0.0	1	33.3
	交通	1,966	6.8	1,953	7.2	13	0.7
	労災	178	0.6	191	0.7	▲13	▲6.8
	運動	196	0.7	184	0.7	12	6.5
	一般	4,224	14.7	4,014	14.7	210	5.2
	加害	69	0.2	83	0.3	▲14	▲16.9
	自損	168	0.6	193	0.7	▲25	▲13.0
	急病	18,151	63.1	17,117	62.8	1,034	6.0
	転院	3,765	13.1	3,502	12.9	263	7.5
	その他	0	0.0	0	0.0	0	-
出動平均(1日)	件	86.2		82.2			
出動間隔		16分43秒		17分32秒			

※1 出動平均は、前年比1日あたり4件増加しています。

※2 出動間隔は、前年比49秒短くなっています。

2 月別救急の状況

出動件数、搬送人員ともに7月が一番多くなっています。

月別	出動件数	出 動 件 数 内 訳												搬送人員
		火災	自然	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	転院	その他	
1	2,763	10	0	0	151	9	5	417	7	17	1,794	327	26	2,488
2	2,325	4	0	0	163	12	9	336	6	17	1,479	263	36	2,076
3	2,488	6	0	1	181	15	19	364	5	26	1,525	315	31	2,247
4	2,293	8	2	1	159	15	20	356	2	24	1,368	324	14	2,129
5	2,463	7	0	1	189	16	17	326	10	18	1,543	312	24	2,282
6	2,353	6	0	0	183	14	19	324	6	30	1,463	288	20	2,173
7	3,216	13	9	2	193	20	17	397	12	24	2,119	380	30	2,919
8	3,026	9	0	2	189	19	25	381	6	24	2,018	330	23	2,742
9	2,520	2	0	0	180	22	23	338	8	17	1,626	288	16	2,307
10	2,533	5	0	0	193	16	19	428	9	15	1,523	312	13	2,331
11	2,439	7	2	0	202	14	9	405	5	12	1,445	319	19	2,240
12	3,124	8	0	4	189	11	12	472	7	14	2,032	343	32	2,814
計	31,543	85	13	11	2,172	183	194	4,544	83	238	19,935	3,801	284	28,748

3 医療機関別搬送状況

医療機関への搬送状況は、救急医療機関26,539人(92.3%)、その他の医療機関2,206人(7.7%)、その他の場所3人となっています。

事故種別等 告示の別等	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
救急医療機関	16,878	1,892	4,072	3,697	26,539
その他の医療機関	1,273	74	152	707	2,206
その他の場所	0	0	0	3	3
合計	18,151	1,966	4,224	4,407	28,748

※ 救急医療機関とは、厚生省令で救急告示を受けている医療機関のことです。

4 署所別出動件数の状況

松山市の救急車は、１７台です。
うち２台は、平日日勤時間帯に機動救急隊として運用しています。

署所 種別	中央署				東 署				南 署			西 署			救急課			消防局	合計
	本署	城北	北条1	*1 北条2	本署	城東1	城東2	湯山	本署	東部	久谷	本署	西部	*2 本署2	*3 WS	機動1	*4 機動2	非常用	
火災	11	7	1	0	8	12	10	4	3	6	5	7	4	2	5	0	0	0	85
自然	2	1	0	0	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	6	13
水難	1	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	3	0	4	0	0	0	0	11
交通	227	133	66	9	177	254	255	62	180	137	41	151	165	7	197	82	25	4	2,172
労災	24	8	8	2	9	14	18	5	9	15	4	13	28	2	6	13	4	1	183
運動	9	3	14	6	7	12	10	7	17	8	12	19	47	1	17	4	0	1	194
一般	460	279	197	42	326	444	457	149	340	317	118	375	441	77	336	146	37	3	4,544
加害	9	1	3	2	3	16	28	1	7	2	0	2	6	0	3	0	0	0	83
自損	23	13	5	4	13	33	36	2	13	15	5	18	25	1	25	5	2	0	238
急病	2,052	1,291	841	166	1,497	2,079	1,957	618	1,629	1,248	526	1,619	1,919	194	1,556	577	144	22	19,935
転院	249	143	97	36	416	414	435	70	489	298	99	189	221	29	396	161	53	6	3,801
その他	18	8	3	0	24	31	19	4	5	3	4	10	9	2	136	4	3	1	284
合計	3,085	1,887	1,237	267	2,480	3,311	3,226	922	2,693	2,050	814	2,406	2,865	319	2,677	992	268	44	31,543

- *1 消防隊兼務
- *2 島しょ部対応、消防救急艇兼務
- *3 救急ワークステーション
- *4 令和6年10月1日から増隊し、運用開始

5 年齢別・性別搬送人員の状況

年齢別・性別で搬送人員をみると、高齢者が１８，２５７人で全体の６３．５％を占めています。

区 分	令和6年			令和5年		
	男	女	合 計	男	女	合 計
新 生 児	32	20	52	14	24	38
乳 幼 児	583	388	971	721	507	1,228
少 年	493	359	852	526	364	890
成 人	4,428	4,188	8,616	4,267	3,983	8,250
高 齢 者	8,555	9,702	18,257	7,910	8,936	16,846
合 計	14,091	14,657	28,748	13,438	13,814	27,252

(年齢区分)
新生児 生後２８日未満の者
乳幼児 生後２８日以上満７歳未満の者
少年 満７歳以上満１８歳未満の者
成人 満１８歳以上満６５歳未満の者
高齢者 満６５歳以上の者

6 事故種別・傷病程度別搬送人員の状況

傷病程度別では、死亡318人（1.1％）、重症997人（3.5％）、中等症10,494人（36.5％）、軽症16,939人（58.9％）となっており、軽症の占める割合が多くなっています。

種別 傷病程度	合 計	火 災	自 然	水 難	交 通	労 災	運 動	一 般	加 害	自 損	急 病	そ の 他
死 亡	318	0	0	2	5	0	0	17	1	12	277	4
重 症	997	2	3	0	36	7	3	97	0	14	591	244
中 等 症	10,494	7	1	1	229	49	33	1,248	4	34	5,427	3,461
軽 症	16,939	13	1	1	1,696	122	160	2,861	64	108	11,857	56
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	28,748	22	5	4	1,966	178	196	4,223	69	168	18,152	3,765

（傷病程度）

死 亡 初診時において、死亡が確認されたもの
 重 症 傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
 中等症 傷病の程度が入院を要するもので重症に至らないもの
 軽 症 傷病の程度が入院加療を必要としないもの
 その他 搬送したが医師の診断がないもの及びその他の場所へ搬送したもの

7 時間帯別出動件数の状況

出動件数が多い時間帯は、10時から12時が4,057件（12.9％）、12時から14時が3,735件（11.8％）となっています。

時間 種別	急 病	交通事故	一般負傷	その他	計
0時～ 2時	1,094	48	181	153	1,476
2時～ 4時	901	43	127	90	1,161
4時～ 6時	893	39	133	93	1,158
6時～ 8時	1,325	174	306	134	1,939
8時～10時	2,174	351	647	512	3,684
10時～12時	2,229	251	550	1,027	4,057
12時～14時	2,081	262	498	894	3,735
14時～16時	1,809	228	484	586	3,107
16時～18時	1,894	288	505	577	3,264
18時～20時	2,116	276	469	354	3,215
20時～22時	1,948	141	402	250	2,741
22時～24時	1,471	71	242	222	2,006
合 計	19,935	2,172	4,544	4,892	31,543

8 現場到着所要時間の状況

救急自動車による現場到着時間は、10分未満が22,294件（70.7%）となっており、現場到着時間の平均は9分09秒となっています。

現場到着 事故種別	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	合計	平均所要 時間
急病	108	745	12,869	5,882	331	19,935	9分20秒
交通事故	11	97	1,454	572	38	2,172	9分03秒
一般負傷	28	177	2,895	1,328	116	4,544	9分35秒
その他	214	569	3,127	887	95	4,892	8分04秒
合計	361	1,588	20,345	8,669	580	31,543	9分09秒
構成比（%）	1.1	5.0	64.5	27.5	1.8	100.0	—
令和5年（%）	1.2	4.6	61.3	30.7	2.2	100.0	9分28秒

※現場到着所要時間とは、入電から現場に到着するまでに要した時間

9 収容所要時間の状況

傷病者の病院収容時間は、30分未満が9,410件（32.7%）となっており、病院収容時間の平均は38分51秒となっています。

収容所要 事故種別	10分 未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分 以上	合計	平均収容 時間
急病	0	340	4,772	11,295	1,663	81	18,151	40分02秒
交通事故	0	31	400	1,303	225	7	1,966	41分57秒
一般負傷	0	65	883	2,812	442	22	4,224	42分05秒
その他	5	952	1,962	1,332	148	8	4,407	29分31秒
合計	5	1,388	8,017	16,742	2,478	118	28,748	38分51秒
構成比（%）	0.0	4.8	27.9	58.2	8.6	0.4	100.0	—
令和5年（%）	0.0	3.3	23.8	61.4	11.1	0.4	100.0	41分10秒

10 応急処置実施状況

救急救命士等が行った救命処置は、463件（前年311件）となっています。

事故種別		急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
応急処置	応急処置対象人数	18, 146	1, 966	4, 216	4, 364	28, 692
止血		53	58	237	30	378
被覆		85	528	1, 019	112	1, 744
固定		36	232	287	87	642
保温		511	30	101	115	757
酸素吸入		3, 083	34	172	1, 174	4, 463
人工呼吸のみ実施		6	1	1	4	12
胸骨圧迫のみ実施		12	1	1	1	15
●	うち自動心臓マッサージ器使用	3	0	0	0	3
心肺蘇生（胸骨圧迫・人工呼吸）		456	6	35	34	531
●	うち自動心臓マッサージ器使用	85	0	9	7	101
●	気道確保	609	10	52	46	717
●	うち経鼻エアウェイ	3	0	1	1	5
●	うち喉頭鏡・鉗子等	8	0	11	2	21
●◎	うちラリングアルマスク等	147	0	8	6	161
●◎	気管挿管	11	0	5	0	16
●	在宅療法継続	86	0	7	5	98
●	ショックパンツ	0	0	0	0	0
●◎	除細動	37	1	0	6	44
●◎	静脈路確保	117	1	7	4	129
	うち心肺停止前（ブドウ糖含む）	25	1	1	1	28
	うち心肺停止後	92	0	6	3	101
●◎	薬剤投与	21	0	0	2	23
	アドレナリン投与	8	0	0	2	10
	エピペン投与	2	0	0	0	2
	ブドウ糖投与	11	0	0	0	11
●◎	血糖測定	87	0	2	1	90
●	血圧測定	17, 096	1, 939	4, 007	4, 088	27, 130
●	聴診器	1, 831	76	165	170	2, 242
●	血中酸素飽和度の測定	17, 662	1, 951	4, 140	4, 287	28, 040
●	心電図	4, 174	46	159	555	4, 934
	その他	17, 722	1, 946	4, 166	4, 074	27, 908
合計		63, 684	6, 860	14, 558	14, 795	99, 897
●	拡大された応急処置等	41, 368	4, 014	8, 521	9, 134	63, 037
◎	特定行為等	420	2	22	19	463

（注）

「●」とは、拡大された応急処置の項目

「◎」とは、救急救命士が行う特定行為等の項目

1 1 応急手当普及啓発活動の状況

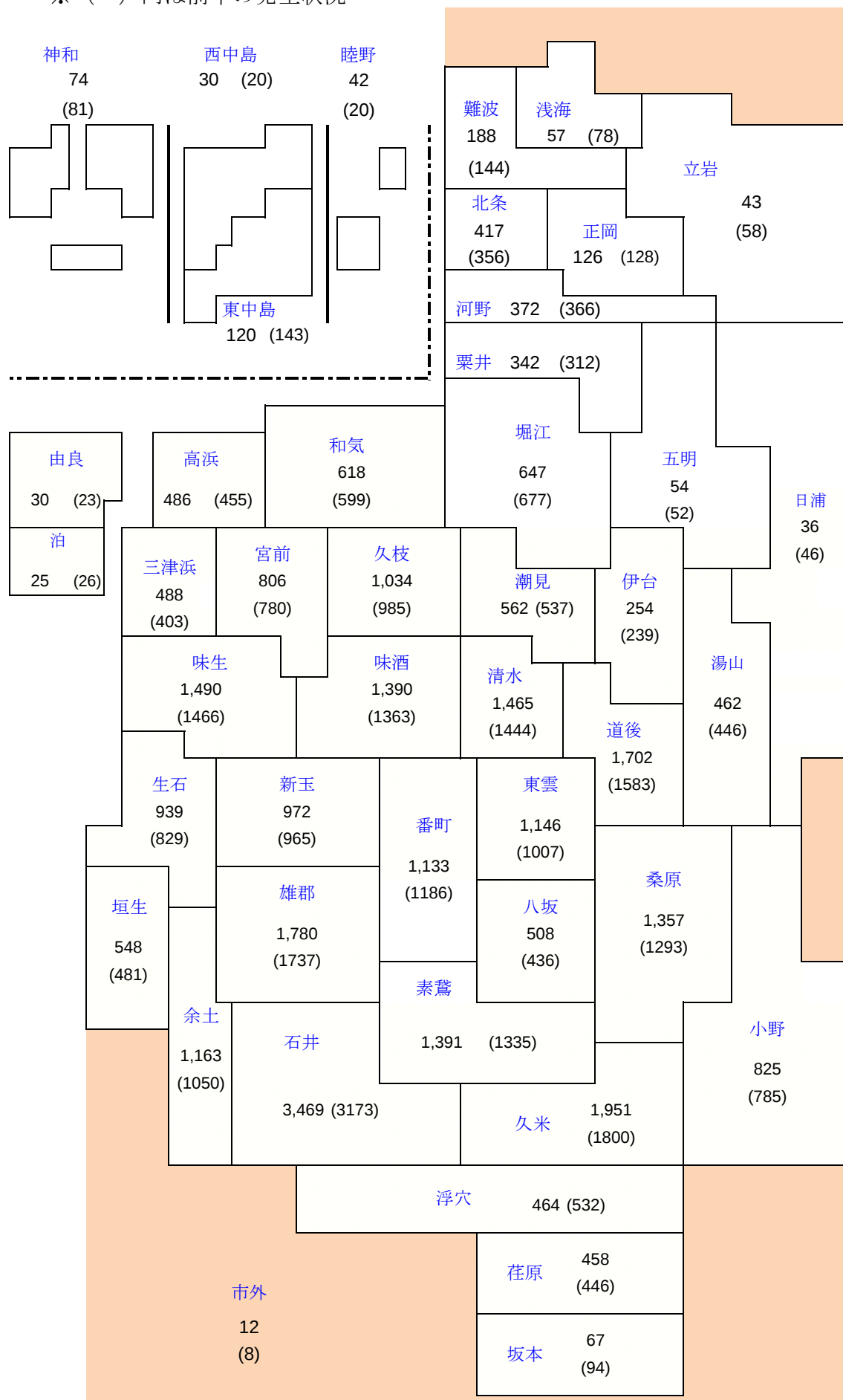
平成7年から令和6年までの30年間で、35万2,546人の市民が応急手当の講習を受講しました。

区分 年	普通救命講習		上級救命講習		その他の講習		合 計	
	回数	受講人員	回数	受講人員	回数	受講人員	回数	受講人員
平成7年	33	1,216			65	3,100	98	4,316
平成8年	42	1,607	2	112	77	4,395	121	6,114
平成9年	48	1,760	4	152	79	4,456	131	6,368
平成10年	67	2,474	5	153	88	4,669	160	7,296
平成11年	118	3,933	6	195	113	7,185	237	11,313
平成12年	133	4,014	8	228	110	6,425	251	10,667
平成13年	139	4,344	13	318	65	3,311	217	7,973
平成14年	152	4,914	33	838	84	3,510	269	9,262
平成15年	195	5,537	38	965	87	4,586	320	11,088
平成16年	219	5,286	41	1,376	59	2,698	319	9,360
平成17年	253	5,943	26	858	126	5,158	405	11,959
平成18年	344	8,631	41	1,124	132	5,781	517	15,536
平成19年	390	9,502	47	1,154	175	7,716	612	18,372
平成20年	389	9,600	43	1,175	216	9,721	648	20,496
平成21年	345	8,342	21	538	251	11,249	617	20,129
平成22年	335	7,910	19	489	217	11,474	571	19,873
平成23年	324	7,211	11	317	236	13,028	571	20,556
平成24年	356	8,389	11	236	201	9,848	568	18,473
平成25年	325	7,550	11	302	146	6,698	482	14,550
平成26年	355	8,014	14	381	158	6,687	527	15,082
平成27年	324	8,146	11	390	147	7,507	482	16,043
平成28年	327	7,905	8	256	138	6,116	473	14,277
平成29年	307	7,640	11	316	118	5,330	436	13,286
平成30年	314	7,666	11	279	121	4,694	446	12,639
令和元年	312	7,024	17	305	169	8,060	498	15,389
令和2年	99	1,806	1	7	20	721	120	2,534
令和3年	143	2,121	5	107	15	346	163	2,574
令和4年	149	2,202	4	82	29	701	182	2,985
令和5年	281	5,068	7	164	57	1,198	345	6,430
令和6年	309	5,859	15	268	54	1,479	378	7,606
合 計	7,127	171,614	484	13,085	3,553	167,847	11,164	352,546

1 2 地区別救急発生状況

出動件数 31,543 件 (前年 29,987 件)

※ () 内は前年の発生状況



救 助

救助の状況

令和6年中の救助出動件数は、250件（前年284件）、活動件数は186件（前年210件）です。

前年と比較すると、出動件数は、34件（12.0%）、活動件数は24件（11.4%）減少しています。

また、救助人員は、149人（前年176人）で、前年と比較すると、27人（15.3%）減少しています。

1 救助出動等の状況

（▲は減少）

区 分		令和6年 A	令和5年 B	増減（A－B） C	増減率 $C/B \times 100$ (%)
出 動 件 数		250	284	▲ 34	▲ 12.0
活 動 件 数		186	210	▲ 24	▲ 11.4
救 助 人 員		149	176	▲ 27	▲ 15.3
	内 男性	81	91	▲ 10	▲ 11.0
	訳 女性	68	85	▲ 17	▲ 20.0
出 動 台 数		1,343	1,463	▲ 120	▲ 8.2
出 動 人 員		4,642	4,685	▲ 43	▲ 0.9
事 故 種 別 出 動 件 数	火 災	11	6	5	83.3
	交 通	47	50	▲ 3	▲ 6.0
	水 難	7	9	▲ 2	▲ 22.2
	自 然 災 害	4	7	▲ 3	▲ 42.9
	機 械	3	4	▲ 1	▲ 25.0
	建 物	119	148	▲ 29	▲ 19.6
	ガ ス ・ 酸 欠	2	6	▲ 4	▲ 66.7
	破 裂	0	0	0	—
	そ の 他	57	54	3	5.6

（注）火災での出動件数は、救助活動を行なった件数を計上しています。

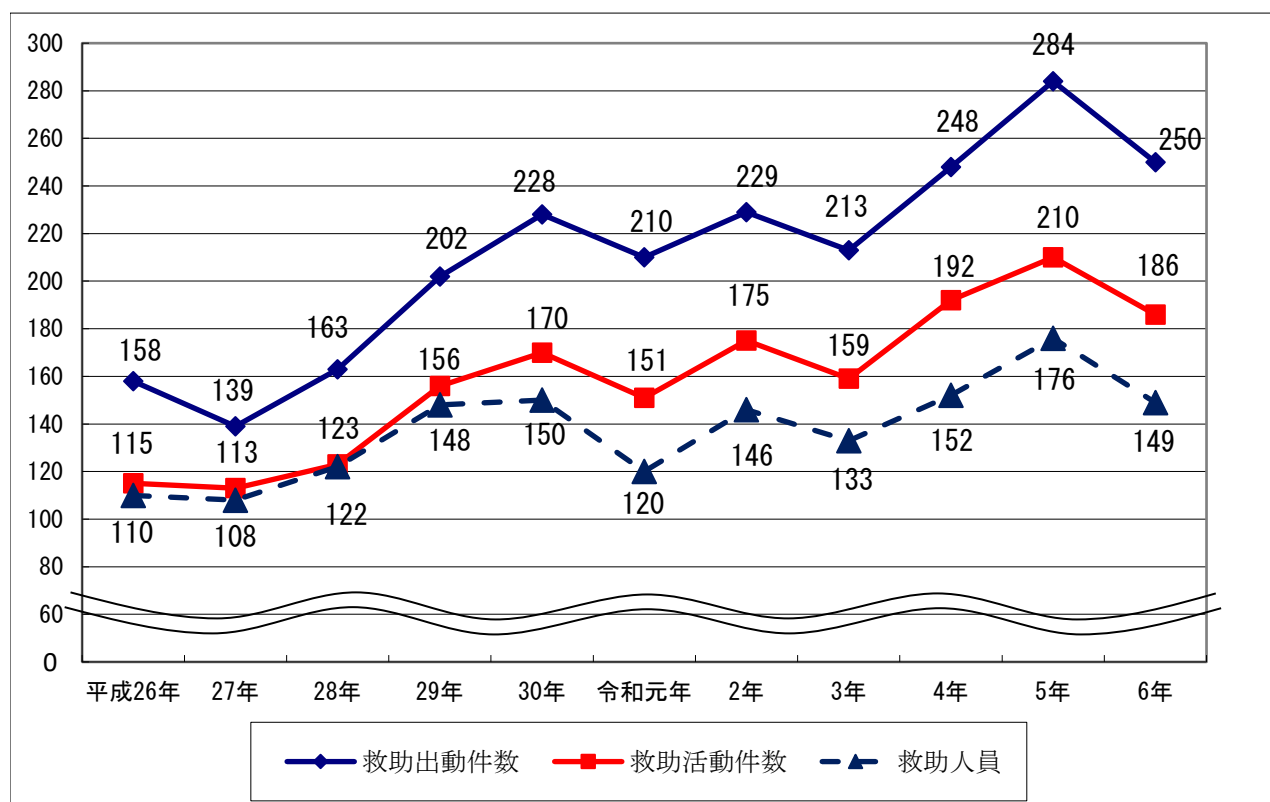
2 救助出動等の推移

10年前の平成26年を指数100とした場合、出動件数158、活動件数162、救助人員135となっています。

(▲は減少)

区分 年	救助出動件数			救助活動件数			救助人員		
	件数	指数	対前年 増減率 (%)	件数	指数	対前年 増減率 (%)	人数	指数	対前年 増減率 (%)
平成26年	158	100	—	115	100	—	110	100	—
平成27年	139	88	▲ 12.0	113	98	▲ 1.7	108	98	▲ 1.8
平成28年	163	103	17.3	123	107	8.8	122	111	13.0
平成29年	202	128	23.9	156	136	26.8	148	135	21.3
平成30年	228	144	12.9	170	148	9.0	150	136	1.4
令和元年	210	133	▲ 7.9	151	131	▲ 11.2	120	109	▲ 20.0
令和2年	229	145	9.0	175	152	15.9	146	133	21.7
令和3年	213	135	▲ 7.0	159	138	▲ 9.1	133	121	▲ 8.9
令和4年	248	157	16.4	192	167	20.8	152	138	14.3
令和5年	284	180	14.5	210	183	9.4	176	160	15.8
令和6年	250	158	▲ 12.0	186	162	▲ 11.4	149	135	▲ 15.3

(件/人)



3 事故種別・署別出動の状況

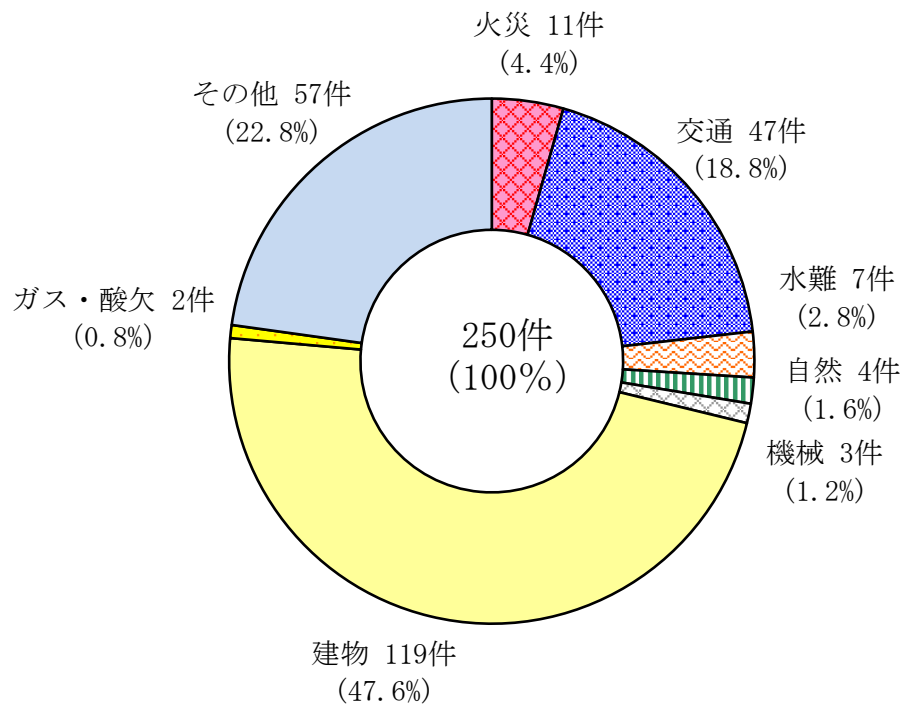
事故種別ごとに救助活動の状況をみると、出動件数で最も多いのは、建物等での事故の119件で、全体の47.6%を占め、次いで交通事故の47件（18.8%）となっています。

活動件数で最も多いのは、建物等での事故の102件で、全体の54.8%を占め、次いで交通事故の28件（15.1%）となっています。

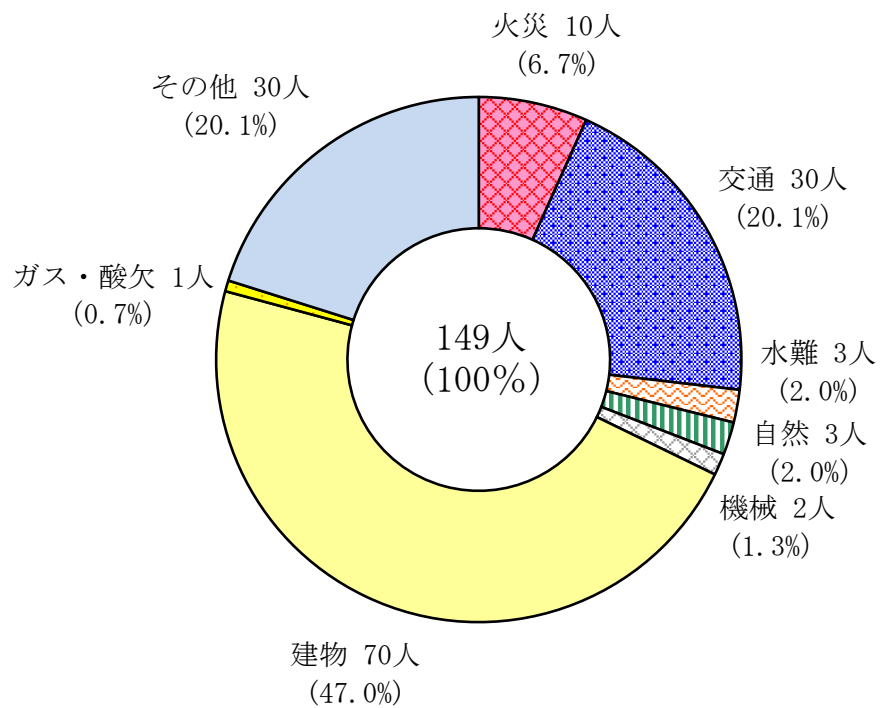
また、救助人員についても、建物等での事故が最も多く70人で、全体の47.0%を占め、次いで交通事故の30人（20.1%）となっています。

事故種別 署別		火 災	交 通	水 難	自 然	機 械	建 物	ガ ス ・ 酸 欠	破 裂	そ の 他	合 計
中央 消防署	出動件数	5	20	2	4	1	45	2		22	101
	活動件数	5	13	1	2	1	33	2		12	69
	救助人員	6	14		3	1	23	1		10	58
	出動台数	52	105	16	59	6	214	12		104	568
	出動人員	199	338	50	565	18	660	36		328	2,194
東 消防署	出動件数	4	7				28			15	54
	活動件数	4	4				26			8	42
	救助人員	2	4				16			7	29
	出動台数	44	34				134			75	287
	出動人員	165	104				400			233	902
南 消防署	出動件数	1	14	1		1	27			9	53
	活動件数	1	7	1			25			6	40
	救助人員	2	8	1			18			5	34
	出動台数	11	77	6		6	133			44	277
	出動人員	55	234	17		19	408			129	862
西 消防署	出動件数	1	6	4		1	19			11	42
	活動件数	1	4	3		1	18			8	35
	救助人員		4	2		1	13			8	28
	出動台数	9	33	25		7	92			45	211
	出動人員	36	103	87		22	288			148	684
合 計	出動件数	11	47	7	4	3	119	2	0	57	250
	構成比 (%)	4.4	18.8	2.8	1.6	1.2	47.6	0.8	0.0	22.8	100.0
	活動件数	11	28	5	2	2	102	2	0	34	186
	構成比 (%)	5.9	15.1	2.7	1.1	1.1	54.8	1.1	0.0	18.3	100.0
	救助人員	10	30	3	3	2	70	1	0	30	149
	構成比 (%)	6.7	20.1	2.0	2.0	1.3	47.0	0.7	0.0	20.1	100.0
	出動台数	116	249	47	59	19	573	12	0	268	1,343
	出動人員	455	779	154	565	59	1,756	36	0	838	4,642

事故種別出動件数と構成割合



事故種別救助人員と構成割合



4 月別救助出動等の状況

月別に出動の状況をみると、7月が最も多く35件で、次いで12月の29件となり、月平均20.8件の出動となっています。

区分 月別	出動 件数	活動 件数	救助 人員	事故種別出動件数								
				火 災	交 通	水 難	自 然	機 械	建 物	ガス・ 酸欠	破 裂	そ の 他
1 月	15	11	14	1	6				4			4
2 月	16	15	8		4				9			3
3 月	24	17	11	2	1	1			14			6
4 月	22	11	10		10	1			6	1		4
5 月	18	15	12	1	3	1		1	7			5
6 月	16	13	13	1	4				6			5
7 月	35	26	19	1	3	1	1	1	22			6
8 月	22	16	13		3	1			11	1		6
9 月	14	12	11		3				7			4
10 月	18	12	7	1	4				8			5
11 月	21	15	12	1	2		3		10			5
12 月	29	23	19	3	4	2		1	15			4
合 計	250	186	149	11	47	7	4	3	119	2	0	57

5 事故種別・傷病程度別救助人員

救助人員を事故種別・傷病程度別でみると、建物等での事故の軽症が29人（19.5%）と最も多く、次いで建物等での事故の中等症の24人（16.1%）、交通事故の軽症の14人（9.4%）の順になっています。

区 分	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	合 計
火 災		1	1	1	7	10
交 通	2	2	7	14	5	30
水 難	1		1	1		3
自 然	3					3
機 械		1	1			2
建 物	2	3	24	29	12	70
ガス・酸欠			1			1
破 裂						0
そ の 他	3	3	5	10	9	30
合 計	11	10	40	55	33	149

6 発生場所別の出動状況

発生場所別に出動の状況を見ると、屋内が150件で、出動件数全体の60.0%を占め、屋外は100件で40.0%となっています。

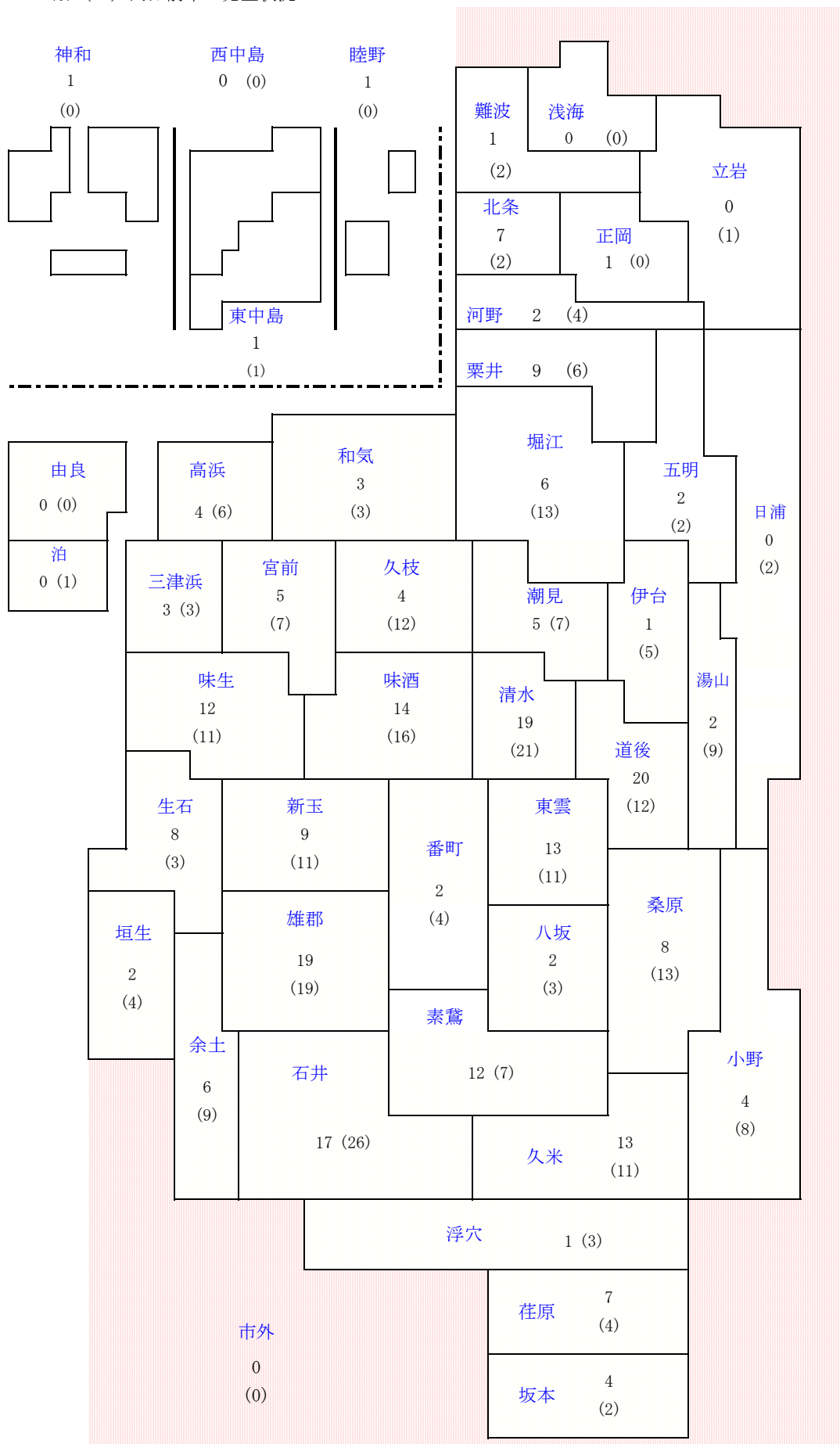
事故種別 発生場所別		火 災		交 通	水 難	自 然	機 械	建 物	ガス・酸欠	破 裂	そ の 他	合 計
		建 物	建 物 以 外									
屋 内		10	1			2	1	118	1		17	150
		9	1			3	1	69	1		6	90
	住 居	9	1			2		115	1		15	143
		9	1			3		67	1		4	85
	その他の屋内	1					1	3			2	7
							1	2			2	5
屋 外				47	7	2	2	1	1		40	100
				30	3	0	1	1	0		24	59
	高 速 道 路											0
												0
	その他の道路			34		2			1		4	41
				20								20
	内 水 面			2	4						2	8
				3	2						2	7
	外 水 面			1	3							4
				1	1							2
	山 岳			1							3	4
				1							2	3
	その他の屋外			9			2	1			31	43
				5			1	1			20	27
地 下												0
												0
そ の 他												0
												0
合 計		10	1	47	7	4	3	119	2	0	57	250
		9	1	30	3	3	2	70	1	0	30	149

(注) 救助人員数

7 地区別救助出動状況

出動件数 250件 (前年 284件)

※ () 内は前年の発生状況



令和6年 火災・救急・救助統計

- 火災統計に関するお問合せは
松山市消防局予防課 火災調査担当
TEL: (089) 926-9247 FAX: (089) 926-9163
E-Mail: sbyobou@city.matsuyama.ehime.jp
- 救急統計に関するお問合せは
松山市消防局救急課 救急管理担当
TEL: (089) 926-9227 FAX: (089) 926-9187
E-Mail: sbkyukyu@city.matsuyama.ehime.jp
- 救助統計に関するお問合せは
松山市消防局警防課 消防・救助担当
TEL: (089) 926-9220 FAX: (089) 926-9188
E-Mail: sbkeibou@city.matsuyama.ehime.jp